

土壌分析と カップの ひび割れ

1. 土壌分析の季節

冬は土壌分析の季節ですが、分析結果を無視するタイプ、逆に神経質になりすぎるタイプなどさまざまです。土壌分析は無視せず、神経質にもならず、施肥の年間計画や問題点発生時に分析結果を頭の片隅に置いて参考にするとよいでしょう。

2. 欠乏より過剰を問題にしてほしい

欠乏成分は施肥すればよく、対策は簡単です。逆に多すぎる方を気にしてほしいと思います。少ない場合でも、各成分を十分に施肥しているのに少ない場合と、施肥をしていない場合があります。前者の場合は心配する必要はなく、サンドグリーンは排水がよく、CEC（保肥力）も低く、肥料流亡が大きいために、施肥をしても分析値はすぐには高まりません。つまり年間に必要な成分を施肥しておけば、神経質になる必要はないと思います。

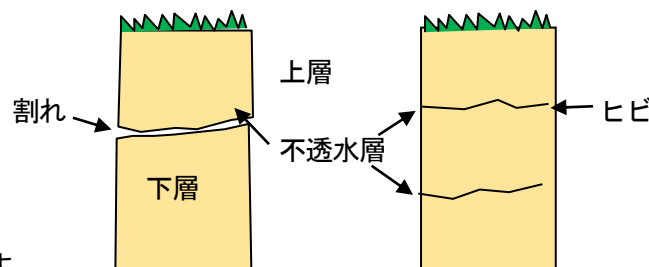
土壌分析値は人の生活に例えると、土壌分析値は貯金であり、施肥は現金です。貯金がなくても現金があればとりあえず問題はありません。

3. 成分過剰と不透水層

土壌分析をして「この成分を多く施肥していないのになぜこんなに多いの」という質問はよくあります。その原因の一つは、排水が悪い部分があるために、肥料成分が流亡せずに蓄積している場合があります。特にリン酸、石灰が多い場合は排水不良による蓄積が考えられます。

4. 不透水層の発見

カップ切り替えの時に、右図のように根があるのに不自然にヒビが入ったり、割れることがあります。これはヒビの上下で土質が異なり不透水層の可能性があります。分析をすると、上層より下層のリン酸、石灰が多くなっている場合が多く見られます。このように同じ場所を層ごとに分析をすると、不透水層を発見できます。上層と下層の成分やCECが同じか、上層より下層が少ない状態が理想です。



ちょっと一言

最近の若い者は・・・という言葉は使いたくないが、私（70歳）の若い時と比べると様々な違いがあります。以前の会社で「今日飲みに行こうか」と独身の若い人を誘うと「金を持っていないんです」・・・とのこと。その当時はおごるほど、こちらも金がなかったが・・・「独身で金がない」とはどういうことかと聞くと・・・貯金をしており現金を持っていないとのことでした。

つまり、私の若い頃より、今の若い方は将来を見越して、堅実な生活を考えているように思います。土壌分析に例えると、今の若い方は「土壌養分が多い方が安心」、私の若い頃は「貯金がなくても給料（施肥）があれば問題なし」ということかもしれません。しかし、土の貯金が少ないと生育が不安定になります。適正な分析値にするには時間がかかります。まず年間に必要な成分を施肥しながら、理想的な分析値を目指して下さい。